

第12回

女ひとと男ひとの行詩

男女共同参画社会の実現に向け、身の回りで感じる「男女平等への想い」などを詠んだ一行詩を募集したところ、全国から2,897点の作品が寄せられました。数々の力作の中から入賞作品が決まりましたので、ご紹介します。
(敬称略)

最優秀賞

女の癖に その癖やめて お父さん 愛知県安城市 野崎 則彦

選評

「女らしさ」の固定観念のもと、何かにつけて「女のくせに」を口にするお父さん。もうそろそろその口癖をやめてくださいな。違う形のコミュニケーションをとればお父さん自身も輝くはず。21世紀は、男女共同参画の時代ですよ。

優秀賞

子育ては 子供と共に 夫婦が育つ 兵庫県神戸市 関口 裕美
共働き あなたが炒めて 私が味付け あっという間に食卓へ 山陽小野田市 石田 陽子

入選

「手伝って」言われる前に手伝うよ 疲れる君は見たくない 東京都府中市 清水 和弘
分担を 交代させて 大発見 君の適性 わたしの能力 大阪府泉佐野市 楠畑 正史
あなたに負けた 身長差 あなたに負けない 慎重さ 男女の共同いいもんね
認めあう 心に咲く花ひとひと 女と男 静岡県静岡市 増本 眞男
書き溜めた 男と女の一行詩 目をそむけずに 読んでねあなた 神奈川県三浦郡 岸田 統子
人事異動 どちらが近い 保育園 岡山県和気郡 吉房 ゆかり
うたた寝の 妻に上着を そっと掛け 今日 オレが 後片付け当番 東京都練馬区 金子 久枝
山陽小野田市 藤田 拓之

特別賞

黙ってないで 伝えよう そこから始まる 平等社会 防府市(防府商業高等学校) 河村 瞳
支えたいし 支えられたい そんな関係に なれればいいな 防府市(防府商業高等学校) 有馬 秀晃

男女共同参画週間講演会

演題

「きらきら光る キラッと輝く 私らしい私の生き方」

- とき 6月26日(土) 13:30～15:00
- ところ 市民館
- 講師 船崎 美智子
(NPO法人市民プロデュース理事長, ライフスタイル研究所代表)
- 問い合わせ先 協働推進課 (☎ 82-1134)

※来場者には、「第12回女と男の一行詩」の冊子を配布します。

<講師プロフィール>

平成14年4月から平成17年3月まで「やまぐち県民活動支援センター」のセンター長として、県民活動団体の相談やNPO法人設立支援を行う。平成19年6月、NPO法人市民プロデュース理事長就任。現在、NPO法人やまぐち県民ネット21理事、周南市ふるさと財団理事も務め、地域、行政、企業、大学とNPO等をつなぐための仕組みづくりや協働事業においても幅広く活動中。

